もう何年も前に買った 4 色のグレーで構成された小ぶりなリュック。ファスナー付きポケットの位置や数がとても気に入って使っている。つい最近になってどこが製造したものだろうと銀のプレートを読むと、ROBERTA VIVIANI とある。ん？ロベルタ・ヴィヴィアーニ…確かに真ん中に見覚えのあるロゴが…。今頃気付いたか。

私はブランド志向ではない。しかしやはり商品を見る時、最初に目につくのがデザインで、良いな、と思うと案の定ブランド品ということがよくある。直輸入品やライセンス商品、いろいろあるが、どちらでも構わない。私にとって機能性が何より大事なのだ。特にバッグは、スリ防止を第一に考える。日本では時々、電車内や歩行中にバッグの口を開けたまま、中の財布が丸見えになっている光景を目にするが、他人事ながら心配してしまう。そんな私は遠目に気に入ったデザインを見つけると、望む機能がついているかどうか確認する。そして機能性で満足を得たものは長く使い続けることができる。

選んだあとにブランド名に目がいった物は多々ある。

先に挙げたロベルタ・ヴィヴィアーニのリュックはポケットの大きさと配置が安全。少し改まった場所にもラフな場所にも持っていけるニナ・リッチのバッグは、大きすぎず小さすぎず収納容量が絶妙。ソニア・リキエルの財布はカードが多く入れられ、小銭・お札を取り出しやすく見た目は極小バッグ。今は日本のメーカーのものを使っているが、こちらもカード収納枚数で選んだ逸品。メガネフレームは、顔の形にもよるが、ジャン=ポール・ゴルチエのモダンなデザインが気に入ったが、かけて少し時間が経った後、かすかに鼻に圧迫感を覚えたので、少し未練が残ったが、長時間かけることを考えて一見地味に見えても上品なサルバトーレ・フェラガモのものを選んだ。サングラスはグッチ。カーブの具合が良くて横からの光も防げる。靴と眼鏡のように長時間使用するものは瞬時で選んでは失敗するのでよく考える。そしてよい店員さんほど、忍耐強く待ち、絶妙な間合いで決め手になるアドヴァイスをくれる。

また気に入っているものの一つに、イサンティのバッグがあるが、タカコ・半沢・メロジーさんの著書を読むまでイタリアの高品質ブランドとは知らずに、改めて驚いたことがある。

もちろんこれ以外にもデザイン性と機能性を満たしたものを持っているが、手ごろな価格で手に入る中堅ブランドでもダントツでイタリア、次にフランスといったところか。服も靴もカットやカーブが動きに即していて体の負担が少ない。日本の服は動作時、靴は歩行時を想定していないように思えるものが少なくない。

ところで日用品であるが、最近、スカートもパンツもウエストゴム製品ばかりである。製造サイズを少なくして手間もコストも削減か。ゴム同様に気持ちも緩みそう。

最近寒さがこたえるようになったので、大腿部もカバーするスパッツを探していたところ、肌着メーカーではなかなか良いのが見つからなかった。しかも腹巻付きなる商品が出ている。腹巻…胴の長さは人によって違うと思うが何が基準か。探しあぐねていたらライザップの製品を見つけた。足の筋肉の動きに合わせた収縮性を持つ、スポーツダイエット用だが、防寒にも利用でき一挙両得、ということで使ってみたら足腰回り快適。最近は本家より異業種の方に応用可能な良い製品が多い。（2021.12.29）